

## 医学部分館の改修と

## 保健学科分室との統合について

医学部分館長 蔵田 潔



弘前大学における図書館関連の中期目標のひとつとして、医学部分館と保健学科分室を統合することが掲げられている。医学科・保健学科における学生および教職員の利便性を考えれば、現状のまま統合しないことが望ましいが、運営費交付金の減額等に伴う本学における事業の見直しという点からは、統合はやむを得ない選択であろう。この目標を実行するため、正村前館長が示した案をもとに、医学科・保健学科双方の委員から構成される附属図書館医学部分館運営委員会において検討を開始した。その結果、分館・分室双方の図書館業務を医学部分館で一元的に行うこととし、保健学科分室は閉鎖することとした。しかし、そのような統合を実際に行うとなると、保健学科にある図書・雑誌をすべて医学部分館に収納することは物理的に不可能であり、図書・雑誌の置き場所の問題を解決しなくてはならない。また、保健学科分室では学生さんの図書閲覧や貸し出しなどの利用が大変多いと聞いており、図書館サービスの低下を極力抑える方策が必要である。

折りしも、本町地区総合研究棟（旧基礎校舎）第Ⅲ期改修工事が行われており、その中に医学部分館の改修も含まれている。そのため、工事完了までの間、医学部分館は地階学生自習室等に仮移転中である。改修に先立ち、医学部分館の限られたスペースの中で統合後の図書館機能を維持・充実させるため、現状のフロアプランの見直しを行うこととした。

具体的なフロアプランを事務局施設環境部に改修計画として提出するに当たり、分館・分室の統合後には、保健学科分室からの図書を収納するスペースが新たに必要となるが、その場合でも、閲覧スペースを確保することを最優先とした。そのため、現在の1階事務室を縮小することにより閲覧用座席を確保するとともに、地階荷解室物品を地階保存庫へ、2階展示室内資料（松木文庫等）を臨床研究棟内へ移設する予定である。さらに、閲覧室資料及び機器配置等の見直しを行うこととした。保健学科学生の利用頻度の高い学習用図書及び雑誌など、分室から分館へ移行する資料は、主に分館積層書庫5層（2階閲覧室から常時入庫可能）に配架する予定である。一方、保健学科側のご厚意によりこれまでの保健学科分室事務室と開架資料スペースを図書資料収納スペースとして使わせていただけることになった。分室のそのスペース

には、統合後も分室にそのまま残す資料と、分館において利用率の低い図書・雑誌図書・雑誌等を移動して収納するとともに、分館・分室の重複図書・雑誌、あるいは電子的資料で代替可能な資料を極力廃棄することにより、統合後の分館のスペース確保を図る予定で準備を進めている。

改修後の建物は、壁の一部撤去と天井および床の高さが統一されるようにし、これまで制約の多かった閲覧室の書架等の配置について自由度が増すように計画している。また、空調設備の更新や館内の静寂を保つための工夫を施すなど、図書館としての使い勝手がこれまで以上に良くなるものと期待される。2009年（平成21年）夏には保健学科分室と統合した附属図書館医学分館として、サービスを開始する予定である。

（くらた きよし）



医学部分館の仮移転場所は、総合研究棟（旧基礎校舎）地階学生自習室（大会議室階下）及び地階図書館保存庫となっております。利用できる資料も限定されており、改修工事期間中は大変ご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力の程お願いいたします。

